

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 115 号	氏名	島田 明子
学位審査委員	主査	戸田 一雄	
	副査	熱田 充	
	副査	吉田 教明	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、ヒトにおいて連続下顎開閉口運動時に予測できない咬合物質の硬度変化が生じた場合の咬合力の調節機構を解析したもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 被験者に対し、咬合物質の硬度変化のパターンやタイミングを予測できないように、試行パターンをランダムにデザインし、さらに種々の統計学的解析法で解析したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、ヒトにおいて、予測できない硬度変化に対しては、各硬度において咬合力が適正に制御されていることを明らかにし、今後の下顎運動制御の研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は下顎運動の調節メカニズムの研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（歯学）の学位に値するものと判断した。</p>			